

# 敦賀市家庭教育指針

## －「家庭教育7つのすすめ」－

令和2年1月10日策定

### はじめに

家庭は、子どもにとって安心できる居場所であり、家族のふれあいにより人に対する信頼感や思いやり、規範意識等、人との関係づくりの基礎が育まれる場所である。同時に、家庭生活の経験を通して、基本的な生活習慣や生活能力を身に付け、子どもが社会へ巣立っていくためのかけがえのない場所であり、すべての教育の出発点でもある。

しかし、近年核家族化や少子化、地域における地縁的なつながりの希薄化等により、保護者が子どもへのかかわり方に不安や悩みを持ち、相談できずに抱え込んでしまうケースも少なくない。

一方、子どもたちにはグローバル化や情報化などの社会的変化に前向きに対応し、主体的に様々な人と協働しながら人生を切り拓く力を身に付けていくことが求められている。

このような状況を踏まえ、保護者のよりどころとなる指針を定めることで、家庭教育を支援し子どもたちの健やかな成長につなげていきたい。

## 1 自他の命を大切にすることを

子どもの命を大切に思う気持ちを、言葉で伝えましょう。

- ◎ 子どもの話に耳を傾けるとともに、相手の行動や思いを一緒に考え、「あたたかな心」「思いやりの心」を育てながら、「いじめを許さない心」を育みましょう。
- ◎ 常日頃から交通事故や災害から命を守る方法を話し合い、自分の命と同じように人の命も大切であることを教えましょう。
- ◎ してはいけないことを言い聞かせましょう。(危険行為、命にかかわること、人を傷つけること、人に迷惑をかけること、人のものを盗ること等)

## 2 子どもの成長にあった生活リズムを

「早寝・早起き・しっかり朝食」を心がけ、生活のリズムを整えましょう。

- ◎ 生活リズムが学力・思考力、社会性、自己調整能力の基本になります。規則正しい生活とバランスのとれた食生活に注意し、外遊びやスポーツに親しみ、健やかな心と体を作りましょう。
- ◎ テレビやゲーム、スマートフォンなどの時間を制限し、長時間使用による生活の乱れや睡眠不足に注意しましょう。

## 3 仲間とつながる力や社会性を

友達や身近な人との遊びや交流を大事にし、仲間と協働する力を育てましょう。

- ◎ 笑顔のあいさつや会話をきっかけに友達や人とつながり、遊びの輪や交流を広げましょう。
- ◎ 友達とのかかわりを深め、様々な人と良好に関わる楽しさや協力し合うことの良さを体験できるようにしましょう。
- ◎ 地域の一員として行事や地域づくり、社会づくり等に参画し、家族とともに交流を図りましょう。

## 4 心のよりどころや安心感を

食事の時間や家族とのコミュニケーションの時間を工夫して作りましょう。

- ◎ 子どもの情緒的安定が成長の基盤となります。忙しい日常生活の中で、家族そろうっての食事やだんらんの時間を工夫して確保し、家族のふれあいや絆を深めましょう。
- ◎ 手をとめて話を聞く、親子で本とふれあう、共通の話題で会話を楽しむなど、コミュニケーションを図りましょう。
- ◎ お手伝いや家の仕事に自主的に取り組めるようにし、家族の一員としての意識や責任感、自立心を育てましょう。

## 5 自分を高める力や立ち直る力を

子どもの良さを認め、がんばったことやできるようになったことをほめましょう。

- ◎ ひとりの大切な「人間」として接し、ほめて一緒に喜ぶことで、自己肯定感・自尊心（自分には長所がある、自分のことが好きだ等の自分のことを肯定的に受けとめる感情）を育み、やればできるという気持ちを育てましょう。
- ◎ 自分の思うようにいかないことがあっても、粘り強くあきらめない気持ちでチャレンジする気持ちが湧くよう応援しましょう。

## 6 子どもの個性の伸長を

子どもが興味を持つことや好きなこと、得意なことをよく理解して応援しましょう。

- ◎ 自然とのふれあいや生活体験を豊かにし、おもしろい・なぜ・やってみたいという気持ちや伝えたい・表現したいという思いを受け止め、知恵を育みましょう。
- ◎ 子どもが興味を持つことに関心を寄せ、自分で選び、主体的に考え行動できるよう応援しましょう。
- ◎ 得意な遊びや学習（読書）、運動、音楽、芸術、科学等に親しむ中で、好奇心や創意工夫する力を伸ばしていきましょう。

## 7 21世紀・情報化社会を生き抜く力を

グローバル化や情報化などの変化を前向きに受け止め、21世紀を生き抜く力を育みましょう。そのためにもインターネットの利用について子どもと話し合い、ルールを決めて見守りましょう。

- ◎ 家庭や学校、児童会、生徒会等で決めたルールを守り、SNSによるいじめやトラブルを防ぐとともに、ゲームやネット依存にならないようにしましょう。
- ◎ フィルタリングを設定し、発達段階に応じた機器の使い方やネットに潜む危険性について話し合うとともに、トラブルに巻き込まれた時やわからない時は、深刻な問題にならないうちに相談窓口を利用しましょう。
- ◎ インターネットを有効に活用し、情報化社会に対応できるよう親子で学び合うとともに、直接話し合うことの大切さや人間らしい豊かな発想で課題を解決することの大切さも伝えていきましょう。